



出前実験講義 ～一緒に実験してみませんか？～

「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」 の「くすりの教室」

特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構は、国民にくすりを安全に安心して使っていただくために薬剤師や国民に対する教育講演や学会を開催しています。その活動の一つとして、小学生にもくすりのことを知っていただく授業や体験実験を行っています。この活動では、愛知県下の薬学部生が実験を手伝い、将来薬剤師としての技能や態度を学ぶことも目的の一つとしております。こうした活動は、読売新聞の新年版にも取り上げられております。

活動報告

沖縄県の北部小学校（平成 19 年 11 月 23 日）
名古屋市立平和が丘小学校（平成 20 年 2 月 9 日）
春日井市立丸田小学校（平成 20 年 6 月 1 4 日）

授業と体験実験は、小学生ばかりでなく、ご父兄にも大変分かり易かったと大好評でした。また、実験に関わった名城大学薬学部の教員、大学院生、愛知県下の薬学部学生からは、平坦な言葉で説明することの難しさを経験でき、今後の勉学に大いに役立ったという意見が多く得られています。

「くすりの教室」のプログラム

～・第一部：「じっけん」を始める前のお話し ～

くすりをどのように飲んだら良く効き、副作用を防ぐことができるか、漫画を使ってわかりやすく説明します。

1. 病気かなと思うのは どんなときだろう？
2. 人の体は病気になったら自分じゃ治せないかな？
3. くすりはなんのためにあるの？
4. くすりは思いついたとき飲めばよい？
5. くすりは一回くらい飲みわすれてもだいじょうぶ？
6. くすりは言われた量の2倍飲んだり、飲む回数を2倍にすると2倍早く治る？
7. こどもとおとなでくすりの量はちがうと思う？
8. くすりは病気が治るのを助けるだけで、体に悪いことはしない？
9. くすりを飲んで副作用が出たらどうしたらいい？
10. くすりはいつ飲むのを止めればいいのか？

制作：名城大学薬学部病態解析学Ⅰ
（桑原宏貴、小谷悠、安藤雄、野田幸裕）
監修：NPO J-Do
名城大学薬学部薬品作用学
（鍋島俊隆）

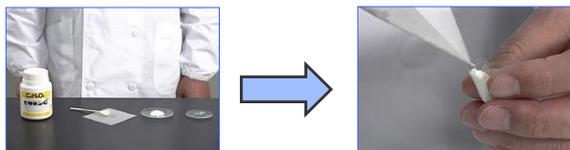


～・第二部：「じっけん」～

お話の内容がより理解できるように、薬学生と共に実験をしていただきます。

1. どうして「カプセル」になっているんだろう？

- まず…粉のくすりをなめてみてね
- そのあと、くすりをカプセルに入れてみよう



どんな味がするかな？

2. 「ざやく」ってなんだろう？

- お湯に「ざやく」を入れてみよう



体の中でこんなふうに
くすりがとけていくんだよ！！

3. コップ1 ぱいの水かぬるま湯でくすりを飲むのはなぜ？

- ぬれた手でくすりをさわってみてね



かわいた手でさわったときと
ちょっとちがうよ！！

4. コップ1 ぱいの水かぬるま湯にも例外があるのを知ってる？

- ふうつのくすりとお水がなくても飲めるおくすりを
お湯の中に入れて、とける速さをくらべてみよう



どっちが早くとけるかな？

5. くすりを「お茶」で飲むとどうになってしまうの？

- お水とお茶にくすりを入れてみよう！！



・・・ どうなるのかな？

